



TITLE:

「特殊コレクション巡り」(2) 農学部「松原文献」

AUTHOR(S):

---

CITATION:

「特殊コレクション巡り」(2) 農学部「松原文献」. 静脩 1987, 23(3): 7-9

ISSUE DATE:

1987-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36975>

RIGHT:

## 《「特殊コレクション」巡り ②》

### 農学部『松原文献』

先日テレビ・ニュースで、日本人学者が世界で初めて、生きて動いているシーラカンスのビデオ撮影に成功した旨、報道していた。この放映を見て、同時に連想したのは、松原教授のことであつた。先生はシーラカンスの鱗を、発見者の J. L. B. Smith 博士から、日本ではじめて送ってもらった方で、その鱗は今も研究室に保存されている。

ところで、農学部には『松原文献』と称されている別置コレクションがある。これは、京都大学農学部水産学科で水産生物学講座（現称）の担当教授であつた、松原喜代松先生が主に魚類の分類学的研究の必要上から、自ら収集された文献集成を、同教授の逝去後遺族の御了解のもと一括して農学部図書室に保存し、利用に供することとしたものである。

先生は、明治40(1907)年宝塚にお生れになり、昭和4年に農林省水産講習所養殖学科を卒業。昭和18年同所教授就任、昭和22年新設された京都帝國大学農学部水産学科第4講座担当教授として、招かれた。先生は昭和4年に、日本近海の魚類採集のため来日した Michigan 大学教授 Carl L. Hubbs 博士のガイドをつとめるうちに、Hubbs 教授の影響を受けて、魚類の分類学的研究に志ざされた。

分類学の研究には多数の関連文献が必要であり、水産講習所では、先生が初めて魚類の分類学的研究を手がけられた故、同所には未だ文献があまりなく、文献の収集には大変御苦労された。現在のように複写機の発達していない時代なので、東大の図書館で文献を手書きで写したり、私費を投じて外国の古書店から購入されたりして文献を収集された。主として太平洋、インド洋の魚類に関する文献を中心に収集されたが、勿論全世界の魚学に関する主要文献を鋭意収集するよう努力された。戦前フィリピンの魚類を研究するため度々日本

に立ち寄った Washington 大学教授 A. Herre 博士は、松原教授の御苦労を知り、その収集に協力された。大戦中は東京の自宅の庭に穴を掘って文献を木箱に入れて埋め、戦火から護られた。戦後 Hubbs 博士と Herre 博士はいち早く松原教授の消息を尋ねてきて、戦争で中断していた海外との交流が再開されることとなった。南アフリカの J. L. B. Smith 教授は、生きた化石と言われるシーラカンスの発見者として有名であるが、戦後多数の文献と共に1938年に発見したシーラカンスの最初の標本の鱗を送ってきた。

このようにして収集された文献の中には、日本では容易に見ることのできないものも含まれていて、魚類の分類学的研究上貴重な存在となっている。分類学という学問の性質上、その文献の生命力は永く、他の学問分野（特に先端分野）のように文献の寿命が短く、「半減期」と称する指標があるといわれているのとは正反対に、むしろ半永久的な寿命がある。

松原文献には、下記のような文献が含まれている。これらのうちには、上記の Hubbs, Herre, Smith の各博士から送られたものの他に、先生の門下生が手分けして原著論文からタイプしたものもある。このタイプ版の論文を見ると、終戦後一時期の先

*"Nature"  
London  
17th January 1933  
J.L.B. Smith*

NATURE  
THE SECOND COELACANTH.  
by Prof. J. L. B. Smith

South African Council for Scientific and Industrial Research, Fellow  
in Ichthyology, Rhodes University, Grahamstown.

It is my great privilege to announce the discovery of a second  
Coelacanth. There are few biologists who do not remember the  
statement engendered by the appearance of *Latimeria* Smith, 1939, as  
well as the acute disappointment in learning that all the soft parts  
of the fish had been lost.

For these various reasons it became a self-appointed task to  
endeavour to find a complete specimen, and for almost fourteen years I  
have constantly pursued that aim. There was overwhelming evidence  
that the fish was a stray, so that the first essential was to attempt to  
trace the habitat.

The only overseas scientist to venture an opinion on this matter  
was E. White, of the British Museum whose statement that it was  
"almost certainly" from "the deeper parts of the sea, to which its kind

学諸氏の努力ぶりに、驚きの目をみはらざるをえない。また、著者自身からタイプ原稿が松原教授に直接送られた例もあるようである。例えば、写真①のタイプ原稿には、左肩に著者の献呈の辞とサイン、掲載誌「ネイチャー」の年月日がある。これは、スミス博士が同誌に投稿し、受理されて掲載号が決まった時点で、同博士が先生にそのタイプ原稿の一部を送ったのだらうと推測される。

モノグラフでは、以下のものが重要であろう。

- #1 Alcock, A. : A descriptive catalogue of the Indian deep-sea fishes in the Indian-Museum, being a revised account of the deep-sea fishes collected by the Royal Indian Marine Survey Ship Investigation.
- #522 Boeseman, M. : Revision of the fishes collected by Burger and von Siebold in Japan.
- #28 Franz, V. : Die japanische Knochenfische der Sammlungen Haberer und Doflein.
- #35, 36 Goode, G. B. and T. H. Bean : Oceanic ichthyology, pt. 1-2.

雑誌論文では、以下のものが重要であろう。

H. W. Fowler の一連の論文。

A. W. Herre の一連の論文。

D. S. Jordan の一連の論文。

C. L. Smith の一連の論文。

上記は、各著者につきほとんど完璧に網羅されている。

- #310 Schmidt, P. : Fishes of Japan, collected  
1910. (Trans. Pacific Comm.  
Acad. Sci. U.S.S.R., 2)
- #320 Soldatov, V. K. and G. J. Lindberg : A  
review of the fishes of the sea  
of the Far-East. (Bull. Pacific  
Sci. Fish Inst., 5)



これらは、題名からも察せられるように、日本近海の魚類に関するものに限らず、アフリカを含むインド洋から西太平洋(インド・太平洋という)にわたる広い海域の魚類が対象となっており、日本の魚類の研究には、それらが必要だと言われている。また、魚類分類学の分野でも日本の研究者による日本の魚類の研究が始まる前に、19世紀から外国人による研究業績が多くあり、それらが不可欠のものとなっている。これらの外国文献を含む『松原文献』はこの分野での貴重なコレクションと言えるであろう。

なお、利用に関しては、他の通常の文献と同様に閲覧できるが、貸出しに関しては、多少の制限

がある。

追記

松原先生の著書の主なものには、以下のものがあり、これらは『松原文献』を駆使して著されたものであろう。

『日本産魚類検索』共著、三省堂 1938 (昭18)  
『日本産魚類文献目録 1612～1950』共編 1953

(昭28)

『魚類の形態と検索Ⅰ～Ⅲ』石崎書店 1955 (昭30)

『動物系統分類学 9 (上・中)』中山書店 1963 (昭38)

『魚類学 上・下』共著、恒生社恒生閣 1965 (昭40)

## 昭和61年度 特別図書選定リスト

図 書 資 料 名	巻 号	刊 年	備 付 部 局
Philosophical Studies Series in Philosophy. Ed. by W. Sellars & K. Lehrer. (哲学研究叢書)	Vol. 14-31	1978 - 1986	文 学 部
History and Historiography. Ed. by Robin W. Winks. (歴史学の思想と方法)	vol. 1-31	1984 (Reprint)	〃
近世文学総索引 近松門左衛門 (I期)	全 6 巻 別巻 1	1986	〃
Tibetan Religious Works ; P.L. 480 and SFC Collections. The Institute for Ad- vanced Studies of World Religions. (チベット蔵外文献)		1986	〃
明治前期地誌資料 明治前期全国村名小字調査書 1 - 6 巻 地方要覧 他 1 巻	全 6 巻 別巻 1	1986	〃
回教圏	第 1 巻 1 号 - 第 8 巻 9 号	1986 (Reprint)	〃
A Journal for the Promotion of Leadership in Education. (教育における指導性増進のための雑誌)	Vol. 17-25	1934 - 1943 (Reprint)	教育学部
日本児童問題文献選集 第 2 期, 第 3 期	第2期 : 13-24巻 第3期 : 25-36巻	1984 - 1985	〃
教育索引 国立教育研究所附属教育図書館編	第 1 巻 - 第 8 巻 (第 1 号 - 76号)	1985 (Reprint)	〃
The Earliest Laws of the Original Thirteen States. (初期米国州法集成)	13 titles in 20 vols.	1981 (Reprint)	法 学 部